

かほく市で学会の地方大会を開催

氏名：丹羽 文生 職業：拓殖大学海外事情研究所准教授

9月8日（土）、生まれ故郷・かほく市にある石川県西田幾多郎記念哲学館において、私が理事を務めている日本臨床政治学会の地方大会が開催されました。

第1部は「環日本海地域の政治・経済情勢」と題して、報告者2名が研究発表をし、続いて第2部では、かほく市の油野和一郎市長が「かほく市のまちづくり」をテーマに記念講演を行いました。



かほく市は小泉構造改革の一環で進められた「平成の大合併」における石川県第1号として2004年3月に3町合併で発足。

油野市長の卓越したリーダーシップによって、東洋経済新報社の「住みよさランキング」でも、かほく市は常に上位をキープし、今や全国から一目置かれる地方都市となりました。

油野市長は、具体的な数値データを挙げながら、かほく市の現況と将来展望を分かりやすく解説して下さいました。

懇親会では今季の初競りで1房110万円の値が付いた石川県産高級葡萄「ルビーロマン」の差し入れも。皆様、大満足でした。